

雑誌でめぐる！南極・北極

会期第1期：2025年8月5日～10月4日

本企画展示第1期では、《昭和基地》についての興味や関心を深めていただけるよう、
南極や北極、極地観測や研究を紹介する2つのメディア——
ウェブマガジン「極」と雑誌『子供の科学』から、関連するコンテンツを集めてご紹介します。
「観測」「建築」「越冬」「通信」という4つのキーワードを手がかりに、
2つの媒体ならではのさまざまな切り口で、極地の魅力に迫ります。どうぞお楽しみください。



極地研
ウェブマガジン



「極」は、南極・北極の魅力や極地観測の様子、研究の成果を紹介する、国立極地研究所のウェブマガジンです。南極と北極は、まだ多くの謎が残る場所であると同時に、気候変動の影響を知るうえでとても大切な場所です。「極」では、そんな極地での観測や研究の様子をわかりやすくお伝えしています。

<https://kyoku.nipr.ac.jp/>

子供の科学



1924(大正13)年に創刊し、2024年で100周年を迎えた小中学生向けの科学月刊誌です。読者の中にはノーベル賞受賞者をはじめ、多くの科学者やエンジニアがいます。宇宙や地球、生き物のふしぎから最新のテクノロジーまで、森羅万象をテーマに科学ニュース、実験、工作、科学マンガなど、盛りだくさんなお届けしています。<https://www.kodomonokagaku.com/>



観測

建築

越冬

通信

4つのキーワードを切り口に、昭和基地での活動や観測を紹介していくパネル展示です。

【特別チャレンジ!】

クロスワードに挑戦して、右の観測隊スタンプを押そう!
答えは常設展示と企画展示パネルの中にあるよ。

ヒントを読んでマスに言葉(カタカナ)を入れてみましょう。
常設展示や企画展示を見て答えを探そう!

【企画展示のヒント】

1. 観望を測る〇〇〇〇〇〇観測。
2. 観望の建物には建材として〇〇〇〇が使われている。
3. 観望を測るための心掛け、一冊は〇〇〇〇第一。
4. 観望建物のインテルネットアンテナは黒い〇〇〇〇に覆われている。

【常設展示のヒント】

5. 日本の〇〇〇〇基地では、アイスコアの掘削を行っている。
6. 大陸なのは南極?北極?
7. 定着氷・流氷の底でくらす藻類は?
8. 南極の氷は数万年の〇〇〇が重なっている。

南極・北極科学館企画展示
雑誌でめぐる!南極・北極
～ウェブマガジン「極」×「子供の科学」～
クロスワードに挑戦!

マスを全て埋めて、南極地帯観測隊のスタンプを押そう!

マスを全て埋められたら、台紙をお持ちになって科学館事務室までお越しください。

《台紙》

マスを全て埋められたら、
台紙をお持ちになって
科学館事務室までお越しください。

